

## ベナン月報(2017年2月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- 10日, タロン大統領は, アフリカ30ヶ国について滞在90日間以内の査証免除措置を発表した。
- 12~25日, 上智大学生14名がベナンを訪問し, 国連食糧計画(PAM)による学校給食現場等の視察を行った。

#### 【外政】

- 9日, アベノンシ外相は, 駐ベナン外交団大使との定例協議を催し, 「政府行動計画」に関する意見交換を行った。

#### 【経済】

- 15日, 閣議においてマリーナホテル等4つのホテルの国有化が決定された。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

#### 【内政】

- ・ 1日, 閣議において2016年10月の政令で設置が決定された国立科学・技術・工学・数理大学(UNSTIM)及び国立農業大学(UNA)の権限, 機構及び機能について決定された。(2日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 1~3日, ニジェール川流域管理機関(ABN)の加盟国であるベナン, ブルキナファソ, カメルーン, コートジボワール, ギニア, マリ, ニジェール, ナイジェリア及びチャドの代表が集い, ニジェール川の利用に関する地域フォーラムをコトヌ市で行った。(2日, Matin Libre 紙)
- ・ 1日, ビオ・チャネ(M. Abdoulaye BIO TCHANE)計画・開発担当国務大臣がイスラム共同体代表団と面会し, 公共の場での祈祷禁止に関する意見交換を行ったが, 議論は平行線で終わった。(2日, Le Matinal 紙)
- ・ 4日, タロン(M. Patrice TALON)大統領は, イスラム共同体代表団と面会し, 公共の場での祈祷禁止に関する意見交換を行った。(5日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 4~5日, ベナン司教協議会(CEB), エスパスアフリカ基金(FEA)及びスイス司教協議会(CES)はアボメカラビ市において宗教間対話に関するフォーラムを開催した。(6日, Matin Libre 紙)
- ・ 6日, ウィダ市議会においてアジョヴィ(M. Séverin ADJOVI)市長の罷免に関する投票が行われたが, 必要得票数2/3には達しなかった。(7日, Matin Libre 紙)
- ・ 10日, タロン大統領は, アフリカ30ヶ国について滞在90日間以内の査証免除措置を発表した。(15日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 14日, タロン大統領は, 今後の改修をに向けてケレク友好スタジアムを視察した。(15日,

L'Événement Précis 紙)

- ・ ソグロ(M. Léhady SOGLO)コトヌ市長は、政府が行っている公共スペースの違法占有物の一掃運動で行き場を失ったダントツパ市場の女性たちにコトヌ市6区への移動を促した。(16日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 12~25日, 上智大学生14名がベナンを訪問し, 国連食糧計画(PAM)による学校給食現場等の視察を行った。(21日, La Nation 紙)
- ・ 23日, ベナン政府は12県の知事と77市の長をコトヌ市に集め, 「政府行動計画」に関して意見交換を行った。(24日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 23日, ビオ・チャネ計画・開発担当国務大臣出席の下, 国境を越える競争力・観光計画(PCTT)の開始式を行った。(24日, L'Événement Précis 紙)

#### 【治安】

- ・ 10日, 米国開発機関(USAID)は, アボメカラビ市の生徒に対して10万個の蚊帳を供与した。(13日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 10日, ナイジェリアとの国境問題を抱えるチャウル地区(Tchaourou)でナイジェリア住民との緊張が高まっていることを受け, シセ(M. Djibril Mama CISEE)ボグー県知事は同地区に出向き, ナイジェリア政府関係者と協議を行った。(13日, La Nation 紙)
- ・ 12日, カラレ地区(Kalalé)ベッサシ(Bessassi)で7千トンのコットンが焼ける火事が発生した。(13日, Le Matinal 紙)
- ・ 24日, ポルトノヴォ市ウアンド市場で不正薬品の取り締まりを行っていた警官隊と売り手との間で衝突があった。(27日, Le Matinal 紙)
- ・ 24日, ダントツパ市場のアジェゲンレ地区でベナン内務省による不正薬品の一斉摘発と販売場所の撤去が行われた。(27日, La Nouvelle Tribune 紙)

#### 【外政】

- ・ 1~2日, コトヌ市においてベナントーゴ間の海洋国境及び200海里以降の大陸棚画定に関する合同調停委員会の臨時会合が催され, 境界画定の方法につき協議された。(2日, Matin Libre 紙)
- ・ 1日, ウンベジ(Me Adrien HOUNGBEDJI)国民議会議長は, カポテ(M. Jorge José Hadad CAPOTE)駐ベナン新キューバ大使の表敬訪問を受けた。(2日, La Nation 紙)
- ・ 2~4日, ムシキワボ(Mme. Louise MUSHIKIWABO)ルワンダ外相はベナンに滞在し, アベノンシ(M. Aurélien AGBENONCI)外相他数人の閣僚と二国間関係について協議した。本年9月中旬にキガリにて二国間協力に関する合同検討会の開催が決定された。(3日, Le Matinal 紙)
- ・ 2日, タムリン(Mme. Lucy TAMLYN)駐ベナン米国大使とラフィア(M. Sacca LAFIA)内務・治安大臣は米国の支援によるゾボ(Zogbo)射的場建設計画の起工式に出席した。(7日,

Le Matinal 紙)

- ・ 7日, ムジャイドウ(M. Soumanou Issifou MOUDJAIDOU) 駐クウェート・ベナン大使が信任状をアル・サバーハ首長に捧呈した。(15日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 9日, アベノンシ外相は, 駐ベナン外交団大使との定例協議を催し, 「政府行動計画」に関する意見交換を行った。(10日, La Nation 紙)
- ・ 9日, ECOWAS と欧州連合(EU)による軽火器蔓延防止計画にナイジェリアが正式に加わった。同計画は EU の220万ユーロの財政支援によるもの。(13日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 21日, タロン大統領は, 駐ベナン・デンマーク新大使を始めとする12名の新任大使から信任状の捧呈を受けた。(22日, L' Evénement Précis 紙)

## 【経済】

- ・ 1日, 「政府行動計画(2016-2021)」で掲げた農業改革の一環である農業振興地域機構(ATDA)に関するモダリティが閣議で承認された。(2日, La Nation 紙)
- ・ 1日, 国連食糧農業機関(FAO)はコトヌ市において「西アフリカ経済共同体(ECOWAS)内の貧困ゼロのための農業投資計画に対する回答」と題した ECOWAS との協調案件の一環として, ベナンの農業分野の評価レポートに関するワークショップを開催した。(3日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 1日, 小西日本大使は, NGO「ヴィヴル・アンサンブル」代表とアゴン中学校増築計画に関する署名式を実施した。(6日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 3日, サチビ(M. Jean-Baptiste SATCHIVI)商工会議所代表は, 政府関係者と経済実業家を集め, 「政府行動計画」に関する意見交換会を行った。(6日, L' Evénement Précis 紙)。
- ・ 8日, USAID はベナン保健省に対して不良薬品を検知する資機材の引渡式を実施した。(15日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 9日, JICA 支所は, ベナンにおける青年海外協力隊の年次活動報告会をコトヌ市で実施した。(10日, Le Matinal 紙)
- ・ 9日, ディブル(M. Mark DYBUL)世界エイズ・結核・マラリア基金代表は, ビオ・チャネ計画・開発担当国務大臣率いる政府関係者とユニバーサル・ヘルス・カバレッジに関する協力について協議を行った。(10日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 9日, 小西日本大使は, 草の根無償資金協力案件であるカンディ市学校建設計画に関する署名式に出席した。供与額は, 5千万 FCFA。(13日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 10日, ビオ・チャネ計画・開発担当国務大臣は, 保健財政に関する国民対話の開始式において人的資本強化のための保険計画(ARCH)の実施を発表した。(13日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 10日, タロン大統領と中国の資金援助によるアボメ市のベナン・中国友好学校の開始式

が催され、アベノンシ外相が出席した。(14日, La Nation 紙)

- ・ 15日, 閣議においてマリーナホテル等4つのホテルの国有化が決定された。(16日, La Nation 紙)
- ・ 16日, 国連人口基金(UNPFA)と駐ベナン・オランダ大使館は若者の性に関する健康改善計画「BEN08SRJ」の開始式を行った。(17日, Le Matinal 紙)
- ・ 17日, セイドウ(M. Alassane Séidou)保健大臣は建設中のアラダ病院を視察した。(20日, Matin Libre 紙)
- ・ 21日, アボメカラビ市の熱帯農業国際機関(IITA)において, ナイジェリア及びマリにおける生産性向上と雇用確保のための「作物管理実施ツール(RiceAdvice)」を活用した営農支援事業の終了式が行われた。(22日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 22日, IMF は今後3年間の対ベナン支援計画として1億5, 000万米ドル規模の拠出を発表した。(24日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 23日, ジュグ市でフランス開発機構(AFD)の支援による学校整備計画の起工式が行われた。約25億 FCFA で65教室と130のトイレ整備が行われる。(24日, La Nation 紙)
- ・ 23日, 日本の供与による7, 000トンの米の引渡式がセントラルコープ保管倉庫で行われた。(27日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 27日, ソンガイセンターにおいてアフリカ4ヶ国から来た24名の営農家に対する6週間の研修が FAO の支援の下, 開始された。(28日, La Nation 紙)

(了)